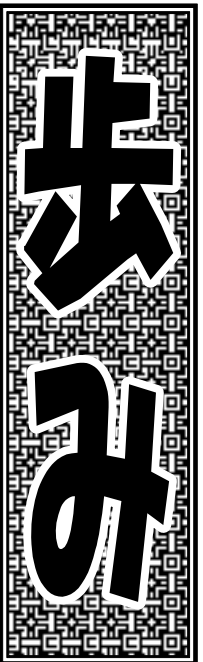


23春闘阪神支部第一回突き上げ交渉 回答発表される 組合は更なる上積みを要求



2023. 4. 21
NO. 666 号
全港湾関西地方
阪神支部
大阪市港区築港
1-12-27
06-6574-8424
078-303-0800
全港湾は一人
でも入れます

各分会の金額回答(3月27日時点)

大 運	定昇+1,000円 +手当3,000円
新 富 運 送	定昇1,000円 +1,000円
日本コンテナ輸送	定昇1,200円 +1,000円
日本高速輸送	定昇込み1,700円
菱 倉 運 輸	平均1,821円
共 栄 運 送	定昇1,000円+α
大 洋 運 輸	定昇組合平均5,662円
サン・トランスポート	勤続給1,500円 +1,500円
五 洋 ロ ジ テ ム	定昇平均2,177円+α
内外フォーディング	定昇平均5,733円+α
天神運輸倉庫	定昇1,200円+α
日本包装運輸	定昇平均4,103円
レ ッ ク ス	定昇平均3,400円
日 章 ト ラ ン ス	2,900円
阪神コンテナビジネス	平均1,500円
国際コンテナ輸送	定昇込み1,600円
三 協 運 輸	定昇1,300円
日本郵便輸送	1,500円+α
オーエスティ物流	定昇1,000円+α +一時金
別府ポートサービス	定昇1,000円+2,000円
新神戸セキュリティ	平均3,000円
後 藤 回 漕 店	一律2,300円
シ ン ケ ン	4,000円
大阪シティフレイト	定昇1,000円+2,000円 +手当3,000円
トールウェイサービス	定昇2,000円
名 阪 船 舶	定昇+諸手当増額



物価上昇に見合う賃上げを求める

3月24日、大阪港勤労福祉会館にて第1回阪神支部23春闘突き上げ交渉を行いました。

はじめに、河野委員長より「新型コロナウイルスのパンデミックがもたらした混乱から丸3年が経過し、国の規制も少しずつ緩和さ

次に、久保田書記長から



関西地本第1回 回答指定日 三権委譲できず 分会と誠実に交渉し 納得できる回答を提示せよ

答指定日)が、コロナ感染症対策を講じての開催となりました。

「本日の回答状況では三権の委譲は出来ない。さらなる交渉を重ねた上で、苦しい企業は苦しいの回答を求めている。第2回集団統一交渉を終えていき

3月27日にアートホテル大阪ベイタワーにて関西地本第2回集団統一交渉(回



畠山委員長による団結ガンバロー

23春闘中央港湾団交（4月10日時点）

春闘こそが我々の生活を改善させる一大闘争！ 一丸となって魅力ある港湾を取り戻そう！

昨年、22春闘では生活すべてに係る物の価格高騰の実態から、賃上げの重要性が今まで以上に高まり、全国的にも各単産・地方ごとの賃上げ状況の検証作業がとられ、交渉も長期休会を余儀なくされ、妥結が11月になるという長期春闘の経過がありました。

なか、真の生活改善に向けた23春闘が2月15日から始まり、3月15日に行われた第二回中央港湾団交ならびに3月28日の第三回中央港湾団交では、切なる要求に対して日港協からの回答が示されました。

しかし、回答の中身は独禁法を盾に回答の拒否や、個別対応を並べるばかりで、他産業よりも遅れを取る、港湾・運輸産業の魅力を取り戻し、業界全体の再

争が世界経済への悪影響に拍車をかけ、41年ぶりとなる更なる物価高で生活への負担増が大きいのしかかる。この施策を業界全体に大

興に繋げる回答とは程遠いものでありました。（回答一部 別欄参照）

政府主導の価格転嫁パッケージ施策に関しても、港湾・運輸業界の人手不足や生活改善に繋げるため、22春闘妥結以降も23春闘に向けて日港協として、継続して取り組みと労使で確認し合意したことです。

22春闘が長期化したとはいえ、昨年末から23春闘が始まるまでに日港協には、



決意表明する真島委員長

るおそれあり』を盾に回答を拒否し、各産別要求項目についても「個別対応とする」とした、中央団体レベルによる産業別団体交渉を侮辱し、業側団体として春闘を形骸化する不誠実団交の不当労働行為に他ならない」と語気を強め、23春闘こそ労働組合の真価を見せると大きな決意表明がされました。春闘は中央レベルのみならず、これから地本・支部・分会と山場を迎えま

す。労働者が労働者としてあるべき生活を取り戻すため、労働組合に結集し「たかう」意味を再度認識し、港湾春闘の動向には敏感にアンテナを張って注視し、全員で勝ちぬく春闘にするよう共に頑張りましょう！

書記長 久保田 稔



23港湾春闘総決起集会



平和を考える記念公演

基調報告がありました。続いて韓神大学の研究員であるイ・ジュンキュさん

ロシアによるウクライナ侵攻や米中の対立が高まり、現在は新冷戦次代とも呼べる世界情勢にあります。そうした中で日本の憲法改正や軍拡路線は「台湾有事への日米共同作戦計画の樹立は最終段階であり、4年前から想定されている」と解説され、朝鮮半島や東アジアも危機的状況にあるとしました。

そして、こうした地域における偶発的武力衝突を予防するために何が必要なのかを提起し、さらには日本における安全保障政策・軍事政策の「抜本的転換」に反対する運動の重要性を説かれました。

最後に、兵庫原水協の津川知久代表理事の現在の核兵器の危険性が高まっている事への警鐘を鳴らし訴える閉会あいさつの後、記念集会を終了しました。副委員長 道下 拓也



イ・ジュンキュ氏

非核「神戸方式」48周年記念のついで
日本の憲法改正や軍拡路線に
反対する運動の重要性

3月18日、兵庫県学校厚生会館において非核「神戸方式」48周年記念のついでが開催されました。

毎年会場に入りきれないほどの人が集います。それだけ非核に対するは関心の高いと気づかれます。

開会のあいさつで谷口神戸港湾共闘議長は1975年に神戸市議会が「核兵器積載艦艇の神戸港入港拒否に関する決議」を全会一致で採択されるまでに至った経緯を説明されました。

次に原爆被害者の会の立川重則会長の来賓あいさつがあり、海外からの連帯メッセージが流され、兵庫県原水協事梶本修史局長の

基調報告がありました。

続いて韓神大学の研究員であるイ・ジュンキュさん

を招いて「大国対抗の国際

平和を考える記念公演

専門部・部会リレートーク

＃1 青年部

阪神支部青年部は支部の次世代幹部の育成を目的として1996年に結成されました。

現在では40歳以下の組合員を対象とし、反戦平和を主とした学習を行い、レクリエーション等の運営を通じて阪神支部内の交流の場を企画しています。

また、他支部や他労組の青年層との交流を図りながら、青年の間にはできない活動を通じて将来の阪神支部を担う人材に成れるように学び、取り組む場でもあります。

主な活動としては、①青年部独自の学習会の開催②全国の地方で持ち回りで開催される全国青年対策交流



2019年沖縄平和行進

2019年4月、大阪の部会員も集まって会議を行いました。以前は定例会議は神戸のみで、新たな議題の確認などを第4金曜日に青年部三役会議として行っています。



2015年冬のバスツアー



兵庫収穫祭での出店

合う内容が伴わず、また、部会員の退職による減少などもあり、運動の継続が困難となりました。支部の定期大会でそのような窮状を訴え、青年層のいる分会へあらためて部会への召集を呼びかけ、今年の2月から大阪・神戸の2カ所所開催とし、リスタートすることと成りました。

各分会から青年部代表役員が集まり、コロナによる制限等もなくなってきたおり、活動を活性化させることが出来るタイミングに向けて良いスタートを迎えることが出来ました。

青年部は青年層が自主性を持ち、自ら学び知識をつけることで成長することが出来る場です。共闘関係を中心とした学習会をはじめ、沖縄平和行進や全国青対などを通じて知識を深めるとともに、全国の仲間と交流を持ち、団結の大切さを学びます。

魅力ある青年部をみんなで作っていきましょう

青年部学習交流会

4月8日、神戸市中央区文化センターにおいて阪神支部青年部役員学習交流会を開催しました。



井ノ元副委員長による講義

井ノ元副委員長を講師に招き「青年部の歴史を学び、これからの飛躍へ！」と題し、講演が行われました。

「労働組合とは何か？」、「何をする組織か？」と参加者に提起し、①労働組合とは労働者が主体となつて労働条件の維持・改善また、経済的地位向上を目的として組織する団体②労働組合は日本国憲法で

することが出来ます。青年が団結して声を上げることで低賃金、悪条件の労働環境を改善することもできるはずです。まずは行動を起こすことから始まります。

詳しく解説されました。阪神支部青年部の歴史として井ノ元副委員長自身が青年部部長として活動してきたことを交えながら①「次世代幹部の育成」を目的として1995年に青年部結成準備会が発足し、翌96年に現在の青年部が結成されたこと②青年部活動に参加しやすくするためレクリエーションに重点を置き、バス・スキーツアー、ビーチバレー、反戦ツーリング、BBQ等を開催してきたこと③レクリエーション活動を実行する中での失敗談④全港湾の全国の青年部との交流の場として「全国青年対策会議」を結成し議論を重ね、各地方での開催に発展させたこと等の苦

も認められており、経営者と対等な立場で協議ができる組織であるとし、「労働三権」、「労働三法」を解説されました。

また、1800年代のイギリスの産業革命を発端とする労働組合のはじまりなど、世界の労働組合の歴史と、第二次世界大戦以降の日本の労働組合の歴史について分かりやすく説かれ、労働者のたたかいの歴史を



年間スローガンに選ばれた

閉会あいさつで篠崎副部長は「今回の学習会は大変、実りのあるものとなりました。魅力ある港湾職場を作っていくことに並行して私たちも魅力ある青年部をみんなで作っていきましょう」と青年部の躍進を呼びかけて散会となりました。

執行委員 坪井 雄志

後にも議論するべきだと力説されました。

最後に「心に決めた目標、相手を思いやる気持ちのこの二つがなければ高き志は達成できない」と力強いメッセージを参加者に託し講義を終了しました。

また、2月24・26日にシールパレスで行われた第23回全国青年対策交流会議において青年部の年間スローガン選考がされ、日本高速輸送分会の前田青年部員の「高き志と若き力で築こう、新時代！全港湾」が選出されたことを受け、学習会最後に表彰式が行われ、井ノ元副委員長から表彰状が手渡されました。

専門部・部会リレートーク

楽しく活動♪ #2 神戸ブロック

神戸ブロックは、毎月第2月曜日を基本とし、ポートオアシスで定例会議を行っています。

定例会議では、各分会から持ち寄った意見や諸問題を提起し、執行部のアドバースやサポートの元、関係各所に申し入れを行い、神戸地区での問題解決に向けて活動をしています。

具体的な活動として、ポ



神戸市港湾局との懇談

ートアイランド・六甲アイランド・摩耶埠頭など港頭地区を中心に道路状況等の調査を行い、その結果を画像や動画による資料として提供し、神戸市港湾局に直接申し入れを行います。指摘箇所を改善することができ、運動の成果を実感することができました。

2021年11月には、神戸市とトラック協会と労働組合の3者合同で行ったポートアイランドの海コン専用道路の清掃活動もゴミ問題の提起をきっかけに実現しました。4トンを超えるゴミが回収され、普段利用しているドライバーのマネー低下を実感すると共に、ゴミの無い清潔な環境維持実現に向けての課題が鮮明

となりました。

また、春闘宣伝行動や各集会デモ行進、憲法集会など共闘団体とともに市民運動に参加しています。

そういった活動に参加することは普段ニュースなどで見聞きするものとは異なる様々な意見を聞くことのできる機会となり、見聞を広めるよい機会になっていると感じています。



専用道路の大量のゴミと悪戦苦闘

春闘およびメーデーの横断幕作成もブロックの主要な活動の1つです。毎年、スローガン案には20近くの中から定例会議での数回の投票と議論を行って決定したスローガンを基に、神戸事務所にて試行錯誤しながら



横断幕作成はすべて手作業

ら下地塗り、及び文字塗り作業を通じて各分会から集まった代表者同士の親交を深めるという場にもなっています。

また、ここ数年は新型コロナウイルスの影響で中止となっている兵庫収穫祭や神戸港家族ぐるみ大運動会には模擬店の出店を行っています。

こちらも定例会議にて、何を出店するかを話し合っていて決めますが、本格的機器を駆使した「イカ焼き」の



好評のイカ焼き

の役割は、職場に一番近い組織として各分会の組合員と執行部、またその先の行政や関係団体を繋ぐということだと考えています。

そういった役割をより果たせる

要望が多々あるほど、イカ焼きは好評です。

各イベントは職場を超えて組合員との交流の場ともなっております。その際はブロックの出店する屋台にもお立ち寄りいただければと思います。

ブロック

ようにこれからも楽しく活動していければということと共に、より多くの分会に参加していただければと思います。

神戸ブロック事務局長

脇坂 光一



兵庫収穫祭での集合写真

分かるかな？

懸賞クイズ



【問題】

日本で一番最初にラーメンを食べた人は誰でしょうか？

①徳川家康②徳川吉宗③徳川光圀

665号の回答

「6つ全て（海苔で巻いてあるので海のものを使っている。）」

1名の方から応募がありましたが、不正解でした。少し難しかったですかね。

666号の締め切り日は、5月12日（金）です。ふるってご応募ください。